

主要施策名:(3)男女共同参画社会の推進

事務事業本数:3

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業 コード	事務事業	所管課
⑥公平で誇りの 持てる社会づくり	(3)男女共同参 画社会の推進	(1)男女共同参画社 会の形成	631-1	男女共同参画啓発事業	人権啓発課
			631-2	男女共同参画計画運用事業	人権啓発課
			631-3	男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業	人権啓発課

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	男女共同参画啓発事業		所管課 【2】	人権啓発課
			作成者(担当者)	前田もと子
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑥公平で誇りの持てる社会づくり		
	主要施策(節)	(3)男女共同参画社会の推進		
	施策区分	(1)男女共同参画社会の形成		
重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 男女共同参画社会基本法、玉名市男女共同参画推進条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市男女共同参画計画(第3次 H30年度~R4年度) 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	3 項 1 目 9 細目 1

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	男女共同参画社会の形成は、国の最重要課題として位置づけられており、本市においても男女共同参画計画を策定し、事業や啓発を行っているが、未だに固定的性別役割意識は根強く残っており、DVなどの人権侵害も発生している。また、地域社会における女性の進出も遅々として進んでいないのが実情である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、人権
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	住民一人一人が男女共同参画に対して理解を深め、家庭、地域、職場など社会のあらゆる分野において、固定的性別役割分担意識の解消やDV・セクシャルハラスメント等の差別や偏見による人権侵害のない社会を構築していく。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度~ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【         】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【         】
事務事業の具体的内容 【14】	「男女がともに尊重し合い、自分らしく生きられる社会の実現をめざして」をテーマにフォーラムを開催する。 ・男女共同参画の視点に立った啓発講座を開催する。 ・男女共同参画社会づくり推進のための研修会等を開催する。 ・内閣府が定める「男女共同参画週間」(6/23~29)にあわせた事業を行う。
	【15】 事務事業を構成する細事業(3)本 ⇒ ① 男女共同参画啓発事業 ② 男女共同参画週間推進事業 ③ 男女共同参画フォーラム開催事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	123	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	468	331	294	2,635	
	【16】 小計	591	331	294	2,635	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.63	0.50	0.62	0.50	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	3,450	2,612	3,366	2,726			
合計	4,041	2,943	3,660	5,361			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 男女共同参画啓発事業	市が主催及び共催する啓発講座の開催	啓発講座開催回数	回	12	18	15	18
② 男女共同参画週間推進事業	市が啓発推進する事業の開催	啓発パネル等の展示箇所数	箇所	5	5	6	6
③ 男女共同参画フォーラム開催事業	市が主催するフォーラムの開催	フォーラム開催数	回	0	0	0	1

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 男女共同参画関連事業参加人数	細事業①、②、③の参加者総数	人	550	200	200	1200
			121	218	405	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必要性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 市が率先して周知・啓発していく必要があるため
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 固定的性別役割分担意識の解消やDV/セクシャルハラスメント等の差別や偏見による人権侵害のない社会を構築するため、引き続き行う必要がある。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止した場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 事業を休止・廃止した場合、増々男女共同参画について理解が得られなくなる。継続していく必要がある。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 コロナも落ち着き始め、講座に参加する人も増えてきた。九州看護福祉大学の公開講座も再開された。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 周知・啓発することが一番の目的。多くの方に啓発・周知するには、講座等を利用していく方法が良いと考える。したがって、目標を達成する内容となっている。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり なるべくお金をかけず、周知・啓発できることはないか、常に考えておく必要があるが、現時点では検討の余地はない。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり デジタル技術の導入により、参加申し込みの取りまとめや申し込みが誰にでも簡単にできるようになるともっと参加が増える。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 民間のノウハウについて、活用ができるのであれば、活用したいため
公平性 【23】	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 目的が類似する事業はないため、統合について検討の余地はない。なお、類似する講座がある場合には、共催とするなどで有効性を高めることが考えられる。
	【受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。】	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 市の啓発事業であるため検討の余地なし。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容) 今後も講座等において、アンケートや追跡調査等を行っていき受講者のニーズ把握に努めると共にニーズに合った講座を開催する。又、啓発活動ではポスターやチラシ配布だけではなく、ホームページやSNSを利用し様々な年代層への啓発・周知を拡充していく。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 前回の振り返り同様、アンケートや追跡調査を行い、受講生のニーズ把握に努めた。ポスター・チラシ・広報・SNSだけではなく、実際に商業施設に出向き、街頭啓発活動を行った。実際に手渡すことで、市民の方の反応も感じ取れてよかった。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	引き続き、講座等において、アンケートや追跡調査を行い、受講者のニーズ把握に努める。また、社会情勢の変化にも対応した講座内容にしていくと共に周知・啓発も積極的に行っていく(講座やフォーラム等において、テーマで取り上げていくなど)。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	家庭、地域、職場など社会のあらゆる分野において、固定的性別役割分担意識の解消やDV・セクシャルハラスメント等の差別や偏見のない社会を目指し、引き続き、周知の拡充を図りながら啓発事業を実施する。	評価責任者 濱治 裕子
----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	男女共同参画計画運用事業		所管課 【2】	人権啓発課
			作成者(担当者)	前田もと子
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑥公平で誇りの持てる社会づくり		
	主要施策(節)	(3)男女共同参画社会の推進		
	施策区分	(1)男女共同参画社会の形成		
重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 男女共同参画社会基本法、玉名市男女共同参画推進条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市男女共同参画計画(第3次 H30年度～R4年度) 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	3 項 1 目 9 細目 2

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	男女共同参画社会の形成は、国の最重要課題として位置づけられており、本市においても男女共同参画計画を策定し、事業や啓発を行っているが、未だに固定的性別役割意識は根強く残っており、DVなどの人権侵害も発生している。また、地域社会における女性の進出も遅々として進んでいないのが実情である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、人権
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	男女が性別にとらわれず、責任も喜びも分かち合い、個性と能力を発揮しながら社会のあらゆる分野へ参画していただける男女共同参画社会の実現を目指す。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	「玉名市男女共同参画計画」に掲げる、男女がともに尊重しあい、自分らしく生きられる社会の実現を目指し、各施策への取組状況を管理する。 ・市長が委嘱する諮問機関として、男女共同参画社会の形成に向けた各施策に関する調査審議を行うための審議会を開催する。 ・庁内職員による委員会として、男女共同参画社会の形成に向けた施策の総合的かつ効果的な企画や推進を図るための委員会や専門部会を開催する。
	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本 ⇒ ① 男女共同参画計画進行管理事業 ② 男女共同参画審議会業務 ③ 男女共同参画社会行政推進委員会業務

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	95	3,186	2,259	198	
	【16】 小計	95	3,186	2,259	198	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.63	0.54	0.86	0.54	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	3,450	2,820	4,669	2,944			
合計	3,545	6,006	6,928	3,142			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 男女共同参画計画進行管理事業	年度ごとの各課事業の実施状況を検証	進行管理の対象となる項目数	件	431	431	431	712
② 男女共同参画審議会業務	外部委員による諮問機関として調査審議し施策の推進を図る	審議会の開催回数	回	2	3	4	2
③ 男女共同参画社会行政推進委員会業務	総合的企画や効果的な施策の推進を図る	委員会の開催回数	回	2	3	4	2

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	
1 市役所における審議会等女性登用率	各課所管の審議会等の女性委員の割合を計算	%	35 24.1	35 24.6	35 25.5	35
2		%				

《事務事業の評価》

	評価視点		判断理由
	(必 要 当 性 性) 【20】	<b>【実施主体の妥当性】【20-1】</b> 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない <b>【目的の妥当性】【20-2】</b> 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり <b>【休廃止の影響】【20-3】</b> 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。 <input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	市が実施するよう法令等で義務づけられている  男女が性別にとらわれず、個性と能力を發揮しながら社会のあらゆる分野へ参画していける男女共同参画社会の実現を目指すにはまだまだ進めていかないといけない。  玉名市が目指す男女共同参画計画の目指すべき方向を示すものであり、市、事業者、地域が一体となって取り組むべきことである。
有 効 性 【21】	<b>【目標の達成度】【21-1】</b> 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <b>【細事業の妥当性】【21-2】</b> 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	全庁的な意識改革が必要(地域、事業所も同じ)  進行管理を行うことにより、取組内容が明確化する。振り返ることもでき、次につなげることができる。したがって、進行管理等を内容とする細事業の構成は適当である。	
効 率 性 【22】	<b>【コストの低減】【22-1】</b> コストの低減について、検討の余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり <b>【執行過程の見直し】【22-2】</b> 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など) <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり <b>【民間活力の活用】【22-3】</b> 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり <b>【類似事業との統合】【22-4】</b> 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	計画策定時の委託事業者選定については、金額だけではなく、内容を重視してもらえる業者選定が必要。委員報酬についても、見直しの余地はない。  専門部会、推進委員会や審議会業務については、簡素化や改善の余地はない。  計画策定には民間のノウハウを活用したが、それ以外の業務については検討の余地はない。  男女共同参画計画は個別の計画であり、目的が類似する計画はない。したがって、目的が類似する事業はなく、統合について検討の余地はない。	
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	計画策定運用業務は受益者負担は求められない。	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容) 令和3年度に実施した市民意識調査、事業所実態調査の調査結果をもとに、第4次計画策定の基礎資料とする。各団体等のヒアリングも含め、課題、方向性の整理を行い令和5年3月策定完成を目指す。審議会等への女性の登用については、今後も改選日の把握、女性人材リストの充実に努めるとともに、活用についても推進していく。 (前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) R5.3月に各課・関係機関の協力のもと、第4次計画を策定することができた。審議会等への女性委員登用も少しではあるが、各課において意識も変わりつつあり、女性委員を登用する傾向がみられてきた。又、改選日を把握し、定期的にイントラネットを利用し、女性人材リストの活用についても掲示を行った。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	第4次計画を策定して安心するのではなく、今後5年間で目標を達成していかなければならない。今後も進捗管理を行っていく、又、審議会等への女性の登用についても改選日の把握、女性人材リストの活用、またリストの充実に努めていく必要がある。併せて人材発掘にも力をいれる。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	計画に掲げる指標(数値目標)の数値は、達成に及ばない項目もあるが、毎年少しづつではあるが伸びている状況である。第4次計画の基本目標である「すべてのひとがお互いを尊重し支え合い自分らしく生きられる社会の実現」を目指し、庁内関係各課と連携し、引き続き事業を実施する。	評価責任者 <b>濱治 裕子</b>
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業		所管課 【2】	人権啓発課
			作成者(担当者)	前田もと子
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑥公平で誇りの持てる社会づくり		
	主要施策(節)	(3)男女共同参画社会の推進		
	施策区分	(1)男女共同参画社会の形成		
重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 男女共同参画社会基本法、玉名市男女共同参画推進条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市男女共同参画計画(第3次 H30年度～R4年度) 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 3 項 1 目 9 細目 3			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	男女共同参画社会の形成は、国の最重要課題として位置づけられており、本市においても男女共同参画計画を策定し、事業や啓発を行っているが、未だに固定的性別役割意識は根強く残っており、DVなどの人権侵害も発生している。また、地域社会における女性の進出も遅々として進んでいないのが実情である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	参加を希望する市民、市職員
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	参加者が男女共同参画社会づくりについての幅広い見識と行動力を身につけるための研修(講和、交流、視察等)を受けることで、各々の地域や職場において男女共同参画計画を基本とした豊かな地域づくりに向け、積極的に活躍できる人材を輩出し、本市における男女共同参画社会づくりを進めていく。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input checked="" type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 申請取りまとめ 】
事務事業の具体的内容 【14】	男女共同参画社会づくりの地域リーダーを育成するために開催される熊本県主催の研修事業の参加者募集を市HP・ライン等にて行う。 (研修内容) 事前研修、県外研修、自主研修、事後研修、報告書作成
	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ⇒ ① 地域リーダー育成事業募集業務 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	40	
	【16】 小計	0	0	0	40	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.01	0.02	0.02	0.02	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	55	104	109	109			
合計	55	104	109	149			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 地域リーダー育成事業募集業務	県外研修参加者の募集	募集回数	回	0	1	0	1
②							
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 地域リーダー育成者数	研修に参加し育成された地域リーダーの累計数	人	24	24	24	24
2			23	23	23	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 当 性 )	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 県が実施している事業であるが、市においては周知・募集を募り、地域リーダーとなりうる参加者を推薦する。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 固定的性別役割分担意識等がまだまだ根深く残っているため、まだまだ取り組んでいく必要がある。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 県内各地からの多種業務の方が参加される研修である。参加される方にとっては貴重な情報交換や交流が生まれる機会となっているため、休止された場合はその機会がなくなることになる。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 R4年度はコロナの影響により実施なし。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 今の細事業の構成は、目的を達成する上で適当である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 市はあくまでも募集のみ。予算は市職員が参加する場合に旅費のみを支出する。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 募集については、ホームページ、ライン等を活用している。それ以外では改善の余地はない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 募集事務のため、民間の活用性は低い。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 目的が近い男女共同参画啓発事業と統合するなど検討の余地がある。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 募集事務のため、受益者負担なし。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	研修会への募集期間等については、今後の研修会動向に注意しながら十分な周知が行えるようにする。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	R4年度はコロナの影響により、実施なし。今後実施される場合には十分な周知が行えるようにする。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	リーダー研修については、県で検討されている状況である。動向を見ながら、十分な周知が行えるようにしておく。短期間での募集期間であっても、SNS等を利用し、広く周知を図る。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	意欲のある職員や市民が研修会に参加できるよう、募集案内の周知を幅広い年代層が目にとまるよう工夫し、事業を継続する。	評価責任者 濱治 裕子
----------------------	-----------------------------------------------------------	----------------